

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー






南アフリカ



インドネシア


















インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/12 （4/5との比較）	4/12 （4/5との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.78% （+0.08）	84.09円 （+0.74%）	+1.6% 2018年4Q	1.75%	発表された住宅着工件数は市場予想を下回る結果。OPEC(石油輸出国機構)の月報で減産の動きが確認され、原油価格が底堅い動きとなる中、カナダドルは対円で上昇。米国国債利回りの上昇につれ、国債利回りは上昇。	製造業売上高や貿易収支、CPI（消費者物価指数）、小売売上高などが発表予定。日米のTAG（物品貿易協定）の会合など世界的に通商問題の動きが注目される中、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を想定。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ブラジル 	BB-	8.18% （+0.11）	28.85円 （+0.06%）	+1.1% 2018年4Q	6.50%	発表された小売売上高やインフレ率は市場予想を上回る結果。マイア下院議長やカンボス・ネト中銀総裁は年金改革法案が可決されるとの見通しに言及する中、リアルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	消費者信頼感指数や雇用関連統計などが発表予定。引き続き、年金改革などボルソナロ大統領の政策や景気の動向などを見極める中、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Ba2	→ 金利横ばい	↗	↗ 景気回復	→ 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.78% （▲0.04）	5.97円 （+1.93%）	+1.7% 2018年4Q	8.25%	発表されたCPIはガソリン価格の影響により前月から上昇が加速。米国・カナダとの新貿易協定の手続きの遅れが指摘されたが、市場への影響は限定的に。メキシコペソは対円で上昇。国債利回りは低下。	雇用関連統計などが発表予定。引き続き、米国との国境に関する政策動向などからも目が離せないが、相対的に高金利通貨であることから資金流入が続く可能性があり、メキシコペソは底堅い動きを想定。
	A3	→ 金利横ばい	↗	→ 景気安定	↗ 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
 ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
 ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
 ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
 ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
 ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
 ※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/12 （4/5との比較）	4/12 （4/5との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	1.88% （▲0.02）	80.37円 （+1.24%）	+2.3% 2018年4Q	1.50%	発表された消費者信頼感指数は前月比で改善。中銀高官が緩和的な姿勢を示さず、中国の貿易収支が改善傾向を示したことから、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	景気先行指数や企業信頼感、雇用統計などが発表予定。中国の政策効果にも期待が集まり、5月の総選挙に向けた政治動向に関する動きに注目が集まる中、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.02% （+0.02）	75.82円 （+0.81%）	+2.3% 2018年4Q	1.75%	発表された製造業PMI（購買担当者景気指数）は前月比で悪化、食料品価格は前月より上昇という結果。足元は材料難の相場となっており、次の材料探しの中、ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	CPIなどが発表予定。国内の材料に乏しい中、米国や中国など海外の経済指標や、米国企業の決算などが好感されて、リスク許容度が更に改善する可能性に注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.78% （+0.10）	13.20円 （+2.05%）	+1.7% 2018年4Q	1.00%	発表されたGDP（国内総生産）が前月比で悪化した一方、CPIは市場予想を上回る内容。原油価格が底堅い推移となっていることなどが下支え要因となり、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは上昇。	貿易収支などが発表予定だが、相場への影響は限定的と予想。為替・債券ともに方向感はつかみにくいものの、減産見通しが持続すれば、原油価格が下支え要因となり、ノルウェークローネは一定の底堅さを示すと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/12 （4/5との比較）	4/12 （4/5との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.64% （▲0.01）	8.02円 （+1.14%）	+1.1% 2018年4Q	6.75%	発表された企業景況感7カ月ぶりの低水準で、市場予想を下回る内容。5月8日に予定される総選挙の結果に不透明感が台頭する中、ランドは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	インフレ統計や小売売上高などの発表を予定。国内経済の動向は芳しくないものの、世界的な政策対応効果によりリスク許容度が改善する可能性があることなどから、債券・為替ともに底堅い動きを予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.16% （+0.07）	0.79円 （+0.29%）	+5.2% 2018年4Q	6.00%	発表された外貨準備高や対外純資産は前月の数値を上回る内容となったものの、市場への影響は限定的。相場は様子見気分の強い環境となっており、インドネシアルピアは対円で上昇。国債利回りは上昇。	17日に大統領選挙の投開票が予定。世論調査ではジョコ現大統領の支持率がプラボウォ氏を大きくリードしている状況で、波乱の結果とならなければ債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気拡大	 利下げ局面		
インド 	BBB-	7.20% （+0.15）	1.62円 （+0.35%）	+6.6% 2018年4Q	6.00%	発表された鉱工業生産は市場予想を下回る内容で、CPIは市場予想を上回るものの低水準。下院選挙では与党BJP（インド人民党）が政権を維持するとの見方が強まる中、インドルピーは対円で上昇。国債利回りは上昇。	貿易収支などが発表予定。総選挙の動きが本格化し、モディ首相が再選するかどうかに注目が集まる中、債券・為替市場はともにその動向に敏感に反応する展開を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

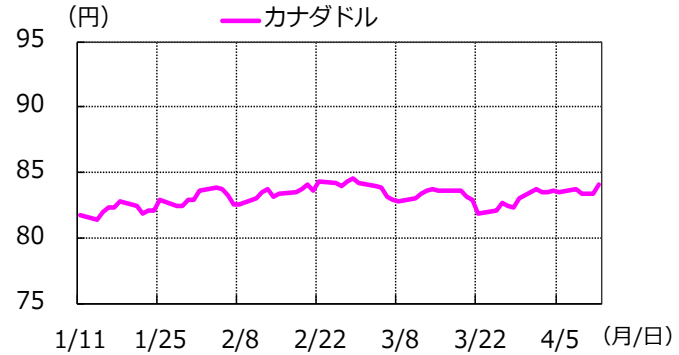
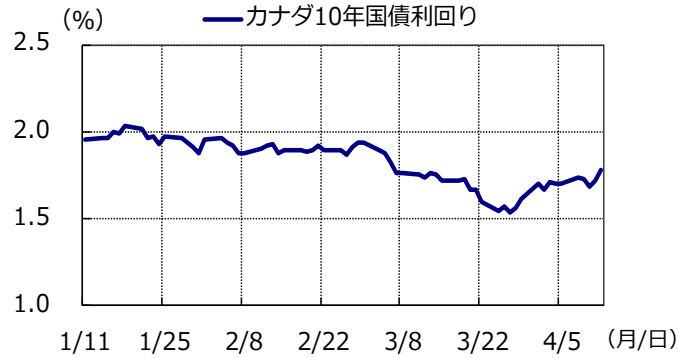
出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回り表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

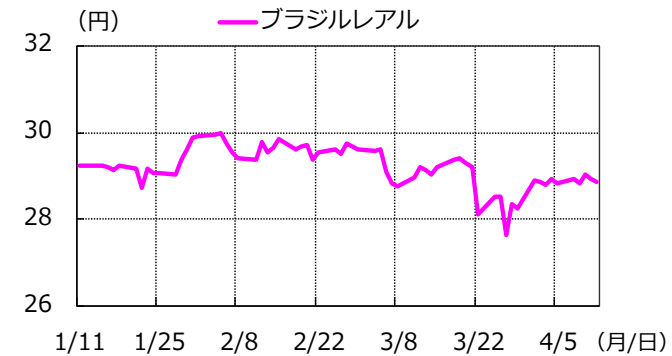
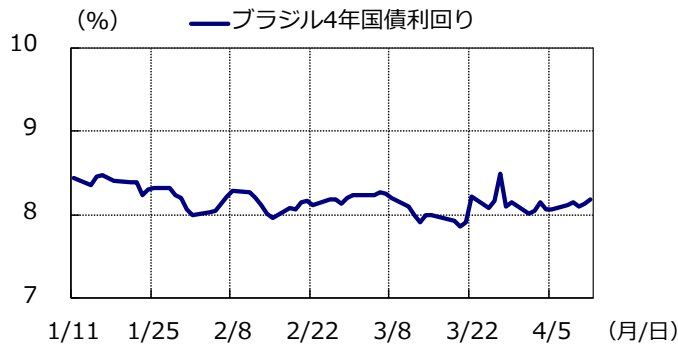
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/1/11～2019/4/12

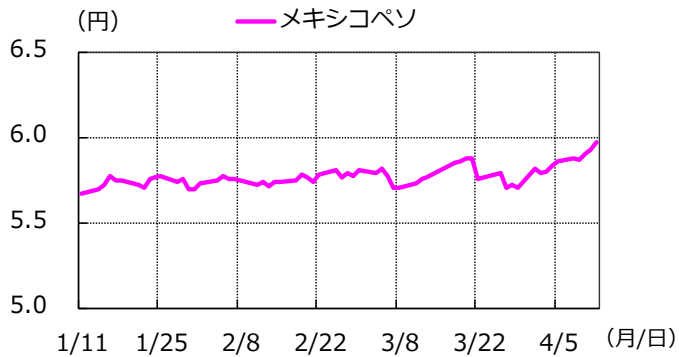
カナダ



ブラジル



メキシコ

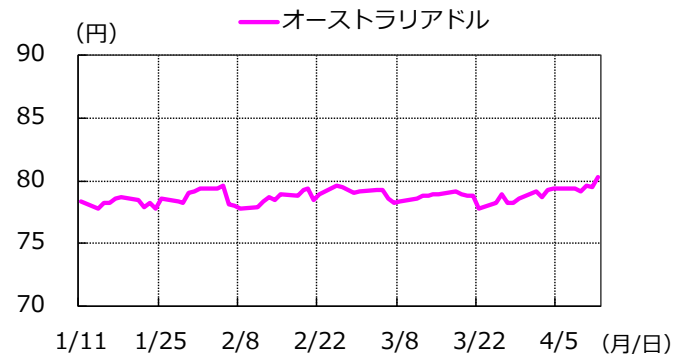


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

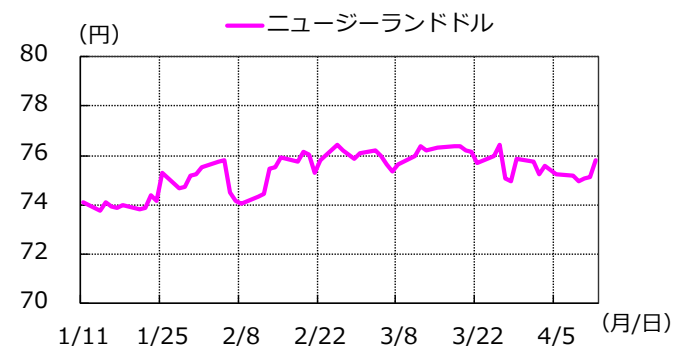
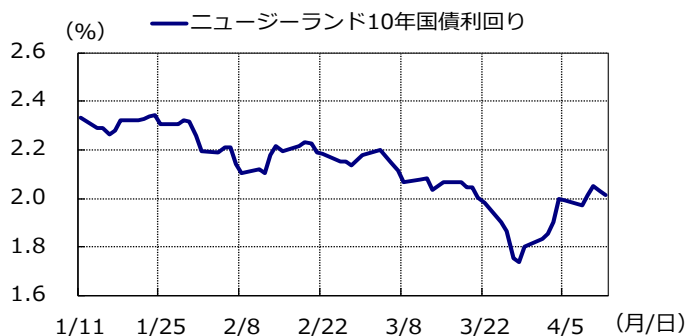
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/1/11～2019/4/12

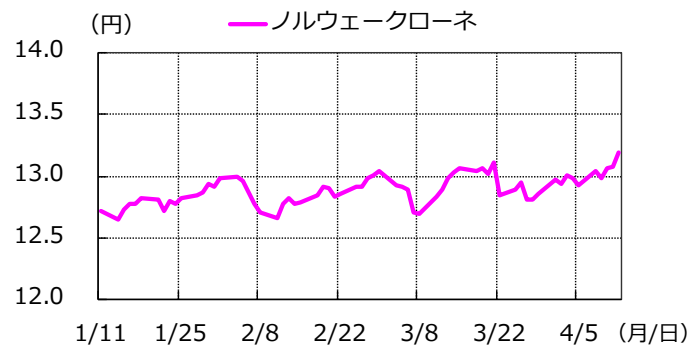
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

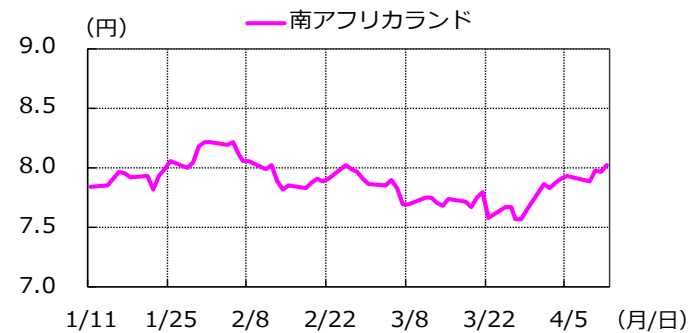
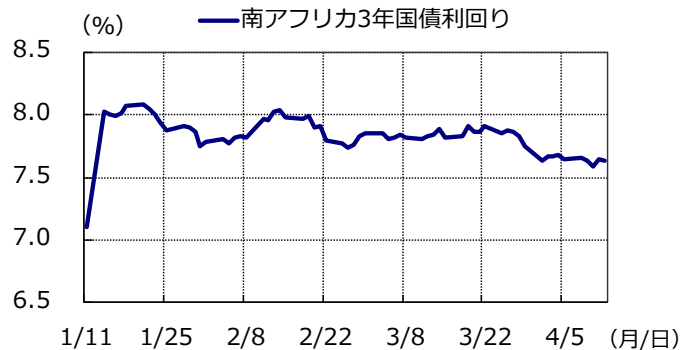


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

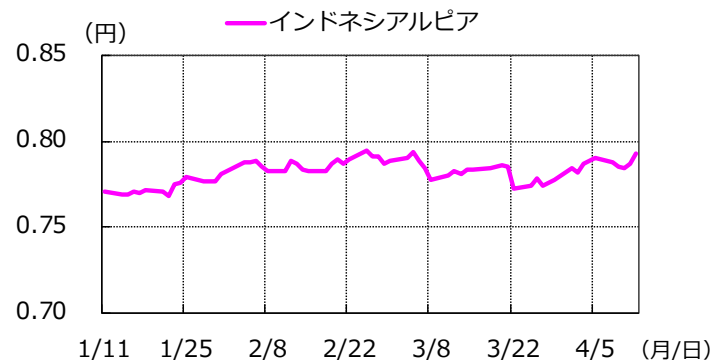
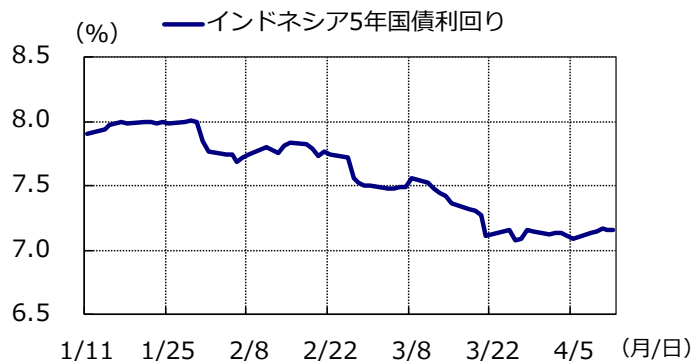
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/1/11～2019/4/12

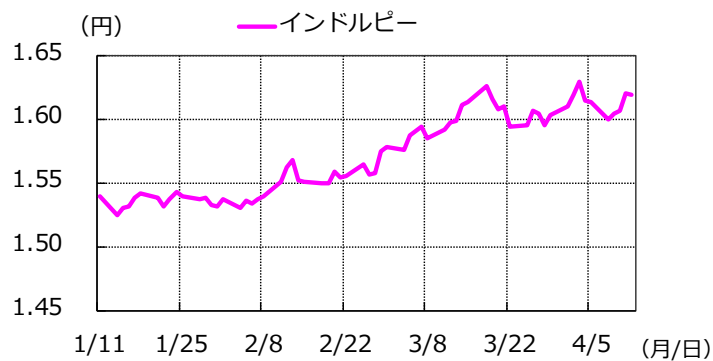
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。